

西濃地区家庭教育応援通信

No. 7

令和4年8月1日発行

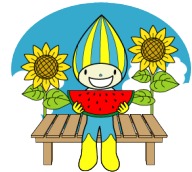
みんなで子育て

会場開催の家庭教育学級が行われるようになりました。

西濃県務所 振興防災課 振興防災係

家庭教育担当：酒井 俊亘

電話：0584-73-1111 <内線212>



バックナンバーはこちら ⇒

大垣市立興文中学校 家庭教育学級

開講式を兼ねて、ソーシャルディスタンスがとれる活動を開催しました。

コロナ禍で家庭でもできる健康体操・運動

【体験活動参加型】

令和4年6月21日(火)

14:00~15:00

家庭教育で教え、
育むこと

基本的な生活習慣

講師：NPO 法人大垣市レクリエーション協会
理事 西川 かおり 様



PTA会長の開講式の挨拶で、今年の家庭教育学級が始まりました。

椅子に座ることでソーシャルディスタンスがとれます。座ったままなので、膝に負担がかかりません。

ふだんの生活では使わないところをほぐします。激しく動かなくても、汗がにじみます。

大垣市立綾里幼保園 家庭教育学級

大きな会場にして2年ぶりの開催。

親子でリトミック

【体験活動参加型】 令和4年6月22日(水)

10:15~10:45 4歳児親子

10:50~11:20 5歳児親子

リトミック講師

川村 香織 様

音楽に合わせて、身体を動かしたり、道具を使って遊んだりするリトミック。園では、園児だけで行われていましたが、コロナ禍のため、親子でリトミックを行うのは2年ぶり。会場も、園の遊戯室から近くの地区センターの広い部屋を利用しました。

お父さんやお母さんと一緒にリトミックをするのは、格別うれしいのでしょうか。子どもたちは、終始笑顔。明るい歓声が会場に響きました。こういう機会を作っていただくことで、親子の絆が強くなるのでしょうかね。



大垣市立西部中学校 家庭教育学級

保護者の要望の高い活動を企画し、参加者を募って行っています。

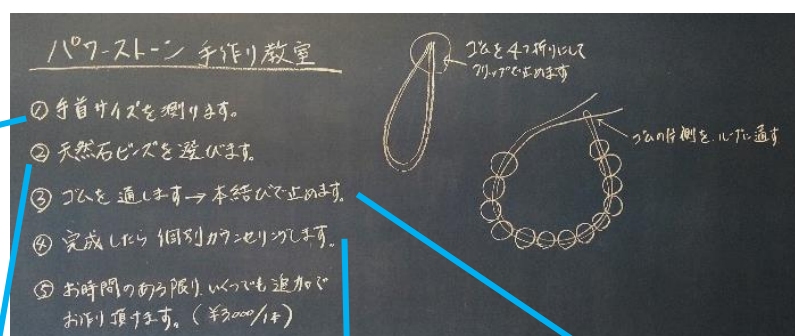
パワーストーン手作り教室

講師：川瀬 好子 様
本田 厚子 様

【体験活動参加型】 令和4年6月16日(木) 10:00~12:00



手首サイズより1cm大き目にしましょうね。



順番にゴム糸を通して、完成です。



どの石を選ぶかで、選んだ人の置かれている状況が分かりますよ。



好きな石を選び、並べ方を考えます。



個別カウンセリングで、今の自分を振り返ります。



保護者のリフレッシュを目的に、西部中に入学する小学校の校区ごとに、家庭教育学級長さんが交代で企画し、その都度、参加者を募って開催します。材料費は参加者が払います。

2年ぶりの開催となった「パワーストーン手作り教室」は、始まる前から、和やかなママ友トークで盛り上がり、この時点で目的達成です。

でき上がりは、「みんなちがって、みんないい」の言葉どおり、いろいろな石を組み合わせた素敵な作品に出来上がりました。家族の分も追加で作られる方もいました。

今年度は、「手作りパン教室」「フラワー教室」を加え、計3回の開催です。



それぞれのパワーストーンには、意味効果があるそうです。みなさん、自分の選んだ石にどんな意味があるのか興味津々です。

＜子育てテキストの紹介＞

カナダ生まれの子育てテキストです。親の心によりそいながら、親が親として育てていくのを支援する立場で作られています。子育てで気を付けることがいろんな角度から書かれていますが、読むと肩の力が抜け、楽になる本です。

はじめから一人前の親などいません。皆、まわりからの助けを得ながら親になっていくのです。人間はみんな欠点をもっています。完璧な人間などどこにもいません。完璧な親や完璧な子どもなど、存在しないのです。ですから大事なのは、可能な限りベストをつくることです。そして必要なときには、まわりから助けを借りるのです。



大垣市立宇留生小学校 PTA 家庭教育学級



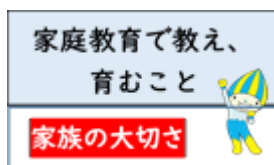
もっと



我が子の「かわいい」が撮りたい！【講演会型+子育てサロン型】

令和4年7月4日(月) 9:30~11:30

- ① 写真撮影を通して、子どもや家族との接し方を見つめ直す
- ② 子どもの自然でかわいい姿の撮り方のヒントがわかる
- ③ 参加者が写真に関する疑問を持ち寄る参加型講座

講師：カメラマン・写真講師
白川 間弓美 様

講座の申し込みもアンケートも QR コードから



「写真を撮ることは、コミュニケーションをとることなんだ。」

写真を撮りながら、相手の緊張をほぐし、その人の内面を引き出す白川さんのコミュニケーション力に感動したと成人家庭教育学級長さんがおっしゃいました。一方的でなく相手の話を引き出すことは、子育てでも同じではないかと、この度、家庭教育学級の講師にお願いしました。

- ・ 自由気まま、動き回る子どもの笑顔の瞬間を引き出すには、子どもに寄り添い、子どものペースに合わせ、子どもに共感すること。
- ・ 子どもが主役。子どもがやりたいことをして、満足して疲れた時がねらい目。
- ・ いっしょに「撮影ごっこ」で遊び、子どもの心の解放をめざしていくことで、その子の素敵な写真を撮ることができる。
- ・ 「写真撮るよ。」「動かないで。」「こっち見て。」と大人の都合を子どもに要求するのではなく、写真を撮られることは楽しいことだと思わせることが大切。
- ・ お母さんが撮る子どものかわいい写真は、プロでもかなわない。撮影のコツとともに、話される白川さんの一言一言に、参加された方は、なるほどとうなずき、納得されていました。

『我が子のもっとかわいいが撮りたい！』参加者アンケート

本日はご参加いただきありがとうございました。

参加者の皆様からのフィードバックをもとに、今後もイベントの運営と内容を改善してまいりますと考えております。つきましては、こちらのアンケートにご記入のうえ、ご意見・ご感想をお聞かせくださいますようお願いいたします（回答は匿名で集計されます）。

どうもありがとうございました。

今回家庭教育学級にどのくらい満足されましたか。

1 2 3 4 5

まったく満足しなかった ○○○○○ 非常に満足した

参加して学んだこと、感じたことをお書きください。

回答を入力

白川間弓美さんへメッセージ！！ *

回答を入力

今後、宇留生小学校成人家庭教育学級で取り扱ってほしいテーマや、こんなイベントや講師をよんでほしい！などのご希望や提案がありましたらお願いします。

回答を入力



自己紹介をしながら、写真を撮るときの悩みを話し、白川さんに答えていただきました。



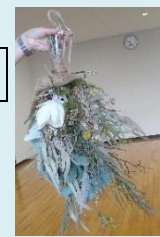
宇留生小学校 PTA では、9月に、「家族で食レポ大会」(在宅取組)を計画しています。普段、何気なく口に入っている食べ物見た目、材料、味についてリポーターのように話したり、その食べ物を一緒に作ったりする活動を通して、家族のコミュニケーションを増やす目的で行います。アイデアあふれる取組ですね。

大垣市立北中学校 PTA 家庭教育学級

材料はあらかじめ渡し、レッスン動画を観て自宅で作成します。

サマースワッグ作り講習会

【在宅取組型】令和4年7月5日(火) 材料・資料は個人懇談日に配付



学校の個人懇談の日に、成人教育委員会の皆様が、体育館の入り口で申込者にスワッグの作り方動画のQRコードを渡されました。



形を自由に変えられる造花とドライフラワーがセットになっています。PTAからの補助もあり、お直打ちに購入することができました。

スワッグとは、ドイツ語で「壁飾り」の意味です。



【サマーバージョン】

西濃フラワーさんの方で、北中学校家庭教育学級用に、材料の種類や花の配置の仕方、縛り方などを説明する動画を作成していただきました。スタッフとのかけ合いが楽しく、分かりやすい12分30秒の動画です。



講師: 西濃フラワー様



昨年度は、クリスマスバージョンのスワッグを作成しました。草花の色合いを変えると、その季節の気分を高めるスワッグが出来ます。生花とはちがって、長い期間楽しめます。



【クリスマスバージョン】

【ユーチューブ 会員限定で動画をアップロードする方法】

※事前に Google のアカウントを取得し、YouTube アプリをダウンロードしておきます。

- 1 スマホで動画を撮る。
(動画の編集は、スマホの標準アプリや無償アプリをダウンロードして行う。)
- 2 YouTube アプリを起動する。
- 3 画面の上にあるカメラのようなアイコンをタップする。
- 4 写真、カメラ、マイクへのアクセスの許可を求めてくるので、許可する。
- 5 アップロードしたい動画を選択する。
- 6 画面のタイトルや説明を入力する。
- 7 公開範囲を「限定公開」にする。
- 8 アップロードする。
- 9 動画の共有をタップし、自分のメールや SNS に動画のアドレスを送る。
- 10 動画のアドレスを QR コードに直し、保護者メールに貼り付け、配信する。



スマートフォン一台で簡単にできます。

在宅でものづくりをする際の解説・方法や、会場開催での講師の話を動画配信することで、多くの保護者に見ていただく機会が増えます。動画配信でお困りのことがありましたら、お電話ください。

大垣市立安井小学校 PTA 家庭教育学級

学校近くの地区センターを利用。後日、YouTube で全保護者に配信。

「私の子育てについて」

【講演会型】 令和4年7月7日(木)

13:30~14:40

家庭教育で教え、育むこと

自立心

家族の大切さ



コロナ感染を防ぐために、来校人数を減らそうと、会場を地区センターにしました。また、講演の内容は、録画し、全保護者に聞いてもらえるように、後日配信します。会場開催だけで終わらず、在宅講演会を行うことで、貴重なお話を聞く機会を増やしました。



講師：西濃学園 学園長
北浦 茂 様



西濃学園は、岐阜県に2つしかない不登校特例校です。
「学校に行けなくなっても、子どもは無数の可能性をもっている。素晴らしい個性を大切にしたい。」
「見守るとは、100%信じてよけいなことを言わないことだ。
(河合隼雄)」

そうした信念から設立された学校の生徒が作った紹介ビデオから講演が始まりました。

【講話内容】

- ・ 「3年寝太郎」「ものぐさ太郎」のように、努力しないのに、「めでたしめでたし」で終わる昔話が残っているのは、型にはまらない特異な力、型にはめるとあらわれない力の存在を認めているからある。
- ・ 力のあるカウンセラーは「あいづち」をうちながら、相手が話をして、自ら答えを見つけるようにする。こちら側の答えを押し付けたり、失敗しないように先取をしたりするのではなく、傾聴し、受けとめることが大事である。
- ・ それぞれの家庭に、「家訓」があっているのではないかと。「一緒に夕食をとる」など。父母の考えを伝え、話し合うことが大事である。
- ・ とんでもない行動であっても、すぐに否定したり、非難したりしない。大人のバックグラウンドを広くして、考えを引き出し、受けとめること。そして、自分の考えを伝える。



PTA 会長挨拶
「不登校問題は、どこにでもあることなのに、どこか人事になっていないか。この講演を通して、自分事として考え、地域に伝えてほしい。」



カメラを三脚で固定して講演を録画しました。



安井小学校PTA 成人教育委員会では、役員であることが参加者によく分かるように、おそろいのTシャツを着ています。背面の安井小PTAのマークは同じですが、6人の役員は別々の色で、胸に一人一人に合わせてデザインされたキャラクターをプリントしてみえました。「どうせ家庭教育学級をやるなら楽しくやりたい」という意気込みで作ったそうです。役員としての一体感をもつこともできますね。



企業内家庭教育研修 (株)ラディアント

家庭教育学級に参加できなくても、
職場で学ぶことができます。

令和4年 6月15日(水) 11:00~12:00

〈研修のテーマ〉子どもの心によりそって

〈参加者〉従業員 40名

※本社からラディアントの

5施設へオンライン配信

〈講師〉親業訓練インストラクター

松尾 千景 様



岐阜県では、家庭の教育力の向上と地域社会全体での子育ての推進を目的に、企業や事業所と連携しながら、子育て中の親だけでなく、これから親になる従業員、子育てが一段落した従業員、管理職など幅広い層への家庭教育研修会を開催しています。

このたび、「(株)ラディアントにて、従業員の皆さんを対象に家庭教育研修会を開催しましたので、紹介します。

「施設利用者への理解・サービス向上のためには、従業員のスキルアップの研修は大切」と考え、会場に全員集まらないうち、オンライン配信を併用して開催されました。

【講話概要】

よりよい人間関係をつくる「伝える」「きく」「対立を解く」というコミュニケーション力をトレーニングすることで、利用者との対話を増やすとともに、利用者の健やかな成長とお互いの温かい関係づくりの一助になることを目的としています。また、私たち大人が自己肯定感とコミュニケーション力を身に付けることは、それぞれの家庭教育にも役立ちます。

【アンケート結果】

本日の研修テーマと内容についてどう思いますか。

大変よい	よい	あまりよくない	よくない
87.5%	12.5%	0%	0%

企業で家庭教育についての研修を実施することについてどう思いますか。

ぜひ受けたい	受けてもよい	あまり受けたくない	必要ない
82.5%	17.5%	0%	0%

【主催者様の声】

職員の興味・関心に寄り添いつつ、新しい視点より業務をとらえる発露になったと強く感じております。聴講者と対話しながらのテンポのよい講座スタイルが人気でした。

【参加者の感想】

- ・現在の業務において、活用できる内容でした。改めて、効果的な聴き方、伝え方の重要性が分かりました。
- ・利用者さんとのコミュニケーションで、声かけの時、過剰に物事を伝えるのではなく、相手が自分の気持ちを伝えられるまで待つことの大切さに気がきました。悩んでいる、迷っている子どもに対して、一方的に聞き出そうとする姿勢を改めていきたいと思えます。
- ・子ども達に対する接し方はもちろん、同じ目標に向かって一緒に働いている人たちとの人間関係を築いていくときにも大切にしていきたいです。
- ・子ども達の話に耳を傾け、子どもたちのサインから気持ちを汲み取りたいと思っていましたが、ちゃんと気持ちを受け止める声かけ等ができていなかったように感じました。これからは、「私メッセージ」を伝え、いやな気持ちを教えてくれたり、サインを出してくれたりした子どもたちに、「ありがとう」の気持ちを伝えていきたいと思えます。
- ・負の感情だと思っていた「いやだ」「気分が悪い」等は、大切な感情であることが理解できました。自分のそういった感情も含めて、他者の気持ちを受け止めることができたらいいなと思えました。
- ・受け止めるときは、「あいづち」「繰り返し」「言い換える」「気持ちを汲む」を意識して行いながら、子どもと一緒に考えていくことを心がけていきたいと思えます。
- ・コミュニケーションの取り方では、自分自身の考えと対象者の思いを結び付けて対応することの重要性を感じました。特に相手が一時的な受け身にならないように、まず、対象者を受け止めて、自分の思いを入れて話すことが参考になりました。



みなさんの職場でも研修してみませんか。何人でも、どの時間帯でも、無料で開催できます。

西濃県事務所にお電話ください。

